

D | AM世界インカム・オープン (毎月決算コース)

<愛称：世界三重奏>

追加型投信／海外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、実質的に外国債券、外国不動産投資信託証券および外国株式に投資を行い、安定的な収益の確保と信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年6月27日～2019年12月26日

第164期	決算日：2019年7月26日	
第165期	決算日：2019年8月26日	
第166期	決算日：2019年9月26日	
第167期	決算日：2019年10月28日	
第168期	決算日：2019年11月26日	
第169期	決算日：2019年12月26日	
第169期末 (2019年12月26日)	基準価額	8,795円
	純資産総額	4,387百万円
第164期～ 第169期	騰落率	4.7%
	分配金合計	120円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

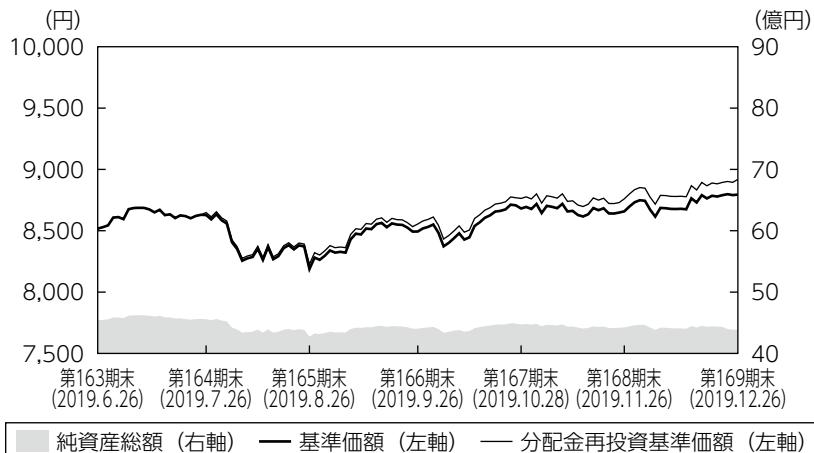
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

2019年9月以降、米中通商協議を巡る一部合意の発表や主要国の金利が低位で推移したことなどをを受けて外国株式市場が上昇したこと、多くの国の中央銀行がハト派姿勢を強めたこと等を背景に主要国の金利が低位で推移したことを好感し外国リートが上昇したこと等がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド	1.6%
D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド	10.7%
D I AM US・リート・オープン・マザーファンド	6.6%
D I AM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	8.9%

1 万口当たりの費用明細

項目	第164期～第169期 (2019年6月27日 ～2019年12月26日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	56円	
(投信会社)	(30)	(0.347)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(23)	(0.271)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.032)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.006	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(0)	(0.002)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.002)	
(投資証券)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.002)	
(d) その他費用	1	0.007	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.005)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	57	0.665	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

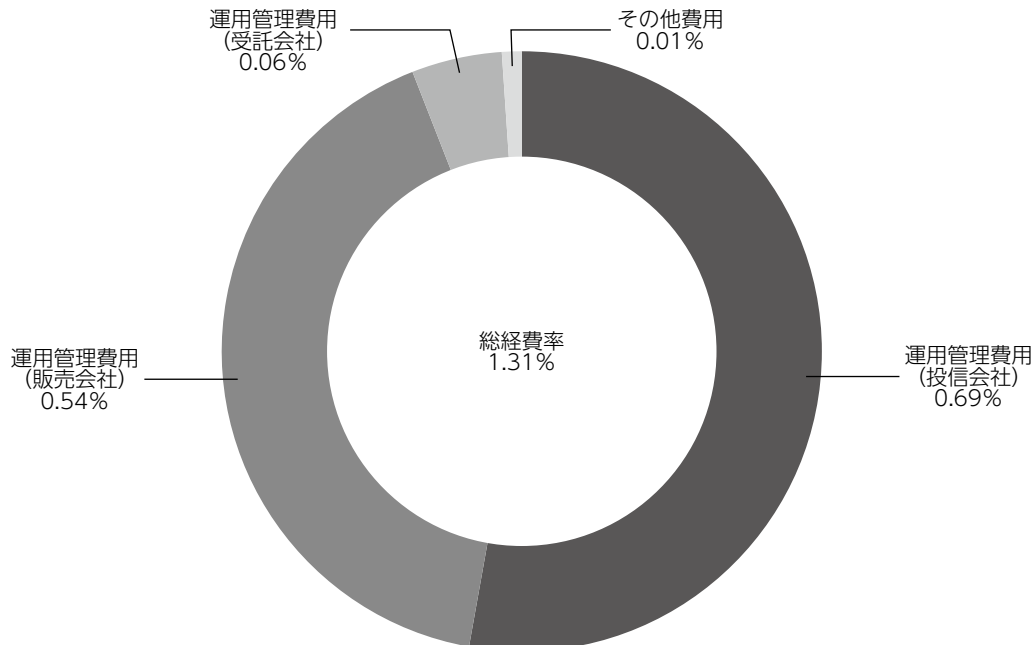
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.31%です。



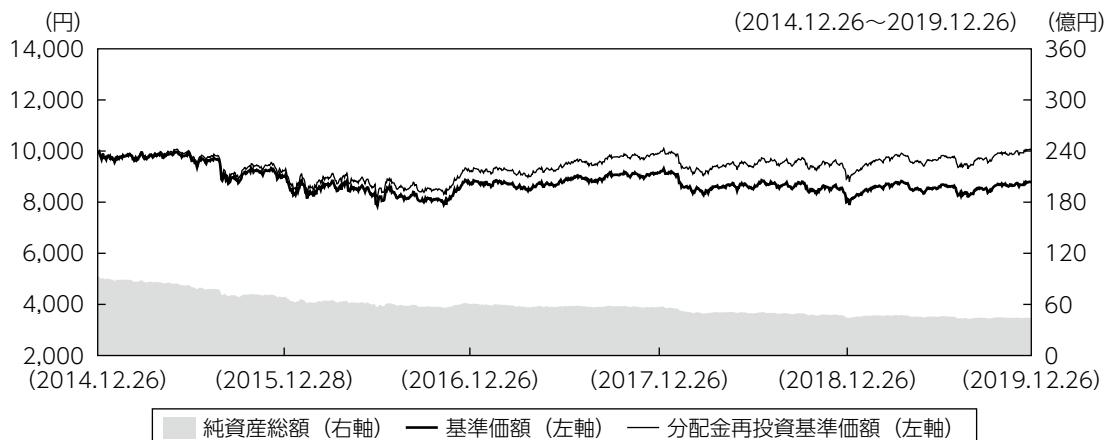
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2014年12月26日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2014年12月26日 期首	2015年12月28日 決算日	2016年12月26日 決算日	2017年12月26日 決算日	2018年12月26日 決算日	2019年12月26日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	9,913	9,011	8,707	9,146	8,024	8,795
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△6.8	△0.6	7.9	△9.8	12.7
純資産総額	(百万円)	9,185	6,864	6,037	5,684	4,431	4,387

- (注) 当ファンドは、外国債券、外国不動産投資信託証券(リート)、外国株式に投資を行い、安定的な収益の確保と信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。
上記資産を組み合わせた適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

投資環境

外国債券市場では、作成期末の組入対象国の国債利回りが作成期初比で概ね横ばいとなりました。作成期前半は、米中通商協議の対立激化等により世界経済の先行き不透明感が強まったことからF R B（米連邦準備理事会）やE C B（欧州中央銀行）が利下げに転じる等、多くの中央銀行が緩和的な金融政策を強化したことで利回り低下が進みました。しかし作成期後半には、米中通商協議の進展期待等を背景に利回りが上昇に転じました。

外国株式市場は、2019年8月末にかけて米中貿易摩擦を巡る動向に左右される値動きの荒い相場展開となりました。9月以降、米中通商協議を巡る一部合意の発表や米国金融政策に対する不透明感の後退などを支援材料に上昇基調となり、作成期末にかけても堅調な相場展開となりました。

米国リート市場は上昇しました。米中貿易摩擦の景気への影響の深刻化や、地政学リスクの高まりが警戒されたものの、米金融当局が3会合連続で利下げを実施し景気下支えに動いたことや、債券利回りが低下したことが市場を押し上げました。また、リートの業績が底堅く推移していたことも投資家の買い安心感を誘いました。

欧州リート市場は、E C Bが金融緩和を再開したことなどが支援材料となり上昇しました。英国では、E U（欧州連合）離脱を巡る不透明感の後退が好感されました。アジアリート市場では、香港リート市場が抗議デモの長期化に対する懸念から下落しました。オーストラリアリート市場は、景気後退と金融緩和による下支えが交錯する展開となっていました。世界的な債券利回りの上昇を受けて当作成期末にかけて下落しました。

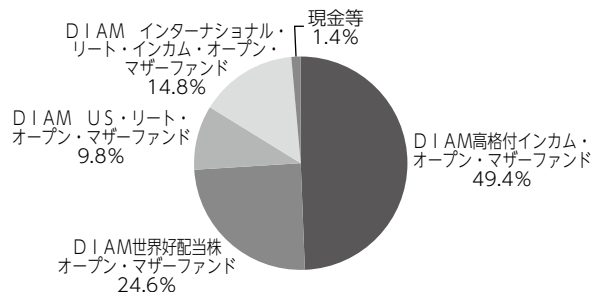
為替市場では多くの通貨に対して円安に振れました。ドル／円相場は、2019年8月に米国の長期金利低下による日米金利差縮小を背景に円高ドル安となりました。しかし9月以降は、米中協議の進展期待が高まり米国の長期金利が下げ止まったことや、市場心理が好転したこと等を背景に円安ドル高の動きとなりました。また、その他多くの通貨に対しても長期金利の下げ止まりと市場心理の好転等を背景に円安現地通貨高となりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

当ファンドでは、外国債券（D I A M 高格付インカム・オープン・マザーファンド）50%、外国株式（D I A M 世界好配当株オープン・マザーファンド）25%、外国リート（D I A M U S ・リート・オープン・マザーファンド、D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド）25%を基本資産配分比率とし、各資産の組入比率が概ね基本資産配分比率に維持されるように資産配分を行いました。

○マザーファンド組入比率



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

●D I A M 高格付インカム・オープン・マザーファンド

基本国別投資比率（カナダ40%、オーストラリア40%、ニュージーランド10%、ノルウェー10%）を概ね維持しました。デュレーション*については、金利見通しに応じて柔軟に対応しました。作成期後半以降は、中長期的な利回り低下見通しのもと段階的に長期化し、作成期末のデュレーションは作成期初と比較して長期化しました。

*金利変動に対する債券価格の変動性。

●D I A M 世界好配当株オープン・マザーファンド

銘柄選択においては、「地域の分散」、「業種の分散」に着目し、世界の好配当株への投資を通じて、安定した配当収益の確保と中長期的な値上がり益の確保をめざした運用を行いました。地域別では、概ね前作成期末と同様の資産配分を維持しました。業種別では、幅広い業種に分散投資を行う中、金融やヘルスケアセクターに対する高めの投資比率を継続しました。

●D I A M US・リート・オープン・マザーファンド

価格上昇等により適正価格に到達したと見られる銘柄については、適宜入れ替えを行いました。また、米国景気の先行きや金利の動向も注視しつつ、保守的な財務体質かつ長期的に見て成長見込みがある銘柄や、割安な水準にある銘柄を選別して投資しました。オフィスやホテル・リゾートなどの組入比率を引き上げた一方、その他（データセンター、倉庫等）や混合型などの組入比率を引き下げました。

●D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド

保守的な財務体質かつ配当成長の見込めるキャッシュフローの安定した銘柄を選別して投資を行いました。また、適正価格に到達した銘柄は適宜入れ替えを行いました。地域別では、カナダや香港などの組入比率を引き上げた一方、シンガポールやオランダなどの組入比率を引き下げました。また、用途別では、オフィスや住居施設などの組入比率を引き上げた一方、小売りや工業などの組入比率を引き下げました。

■分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第164期	第165期	第166期	第167期	第168期	第169期
	2019年6月27日 ~2019年7月26日	2019年7月27日 ~2019年8月26日	2019年8月27日 ~2019年9月26日	2019年9月27日 ~2019年10月26日	2019年10月29日 ~2019年11月28日	2019年11月27日 ~2019年12月26日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.23%	0.24%	0.23%	0.23%	0.23%	0.23%
当期の収益	20円	17円	20円	18円	15円	20円
当期の収益以外	-円	2円	-円	1円	4円	-円
翌期繰越分配対象額	660円	657円	658円	657円	653円	655円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

各マザーファンドを基本資産配分比率に従い配分します。また、時価の変動などにより時価構成比が変化した場合には、定期的に基本資産配分比率に修正します。マザーファンドの組入比率についても高位組入れを維持します。

●D I A M高格付インカム・オープン・マザーファンド

基本国別投資比率（カナダ40%、オーストラリア40%、ニュージーランド10%、ノルウェー10%）に沿った比率を維持する予定です。世界経済が減速する中、緩和的金融環境が継続しやすいと見ており、足元の利回り上昇は一時的と予想します。こうした認識の下、デュレーションは長期化を基本に利回り上昇が進んだ局面では長期化幅を拡大することで期待収益率の向上をめざします。

●D I A M世界好配当株オープン・マザーファンド

今後の外国株式市場は、目先は米国をはじめとする主要各国の政治要因や金融政策動向に左右されやすい、値動きの荒い相場環境を予想します。一方で、安定した配当収益の確保と中長期的な値上がり益の確保をめざす当ファンドにとっては、比較的銘柄選別を行いやすい市場環境だと考えます。配当利回りが市場平均以上であり、利益およびキャッシュフローの成長性が高く、将来的にも十分な配当が期待できる銘柄を選別します。

●D I A M US・リート・オープン・マザーファンド

米国景気の減速が懸念される中で、低金利環境が当面維持される公算が高く、リートをはじめとする利回り資産への需要は底堅いと考えられます。引き続き財務体質が良好で、長期的な成長が期待できる銘柄を選別して投資する方針です。電子商取引の拡大を背景とした工業リートの成長性などに注目しています。また、割安な水準にある銘柄にも投資することにより、比較的高い配当利回りを維持できるポートフォリオを構築していきます。

●D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド

欧州リート市場は、EU離脱による経済への悪影響が予想される英国をはじめ、保有は抑制気味とする方針です。オーストラリアリート市場は、消費減速懸念を利下げ期待が相殺すると見て、中立とする方針です。アジアリート市場は、米中貿易摩擦や中国経済の減速に対する懸念はあるものの、株価下落により割安感が出てきた香港リートには従来より前向きな姿勢で臨む方針です。個別銘柄選択においては、財務体質が安定的で配当成長の見込める銘柄を選別して投資していく方針です。

お知らせ

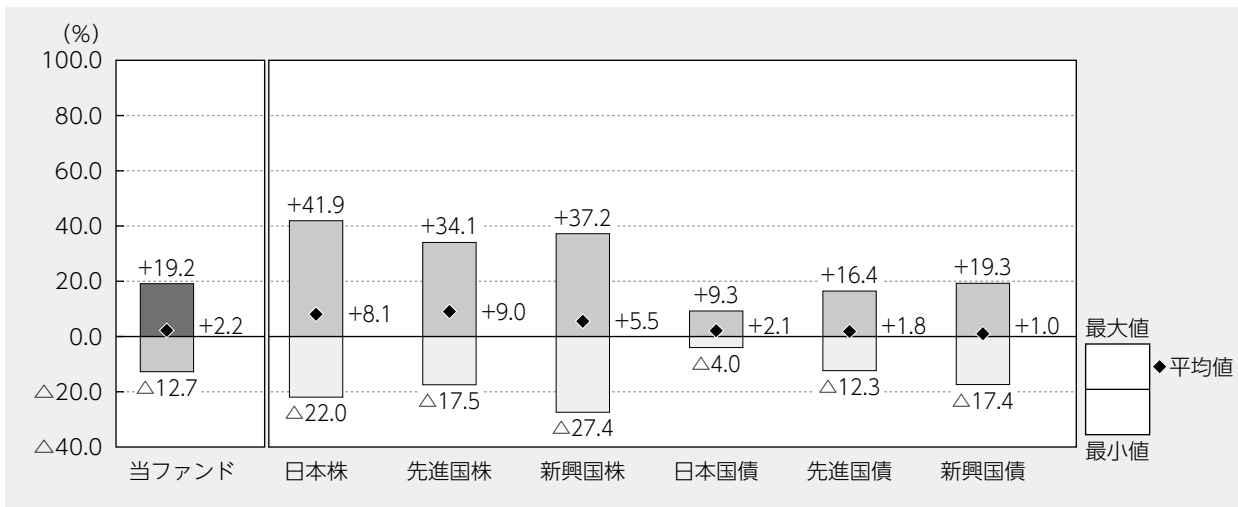
- 当ファンドが投資対象とする「D I AM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド」において、運用に関する権限委託先の社名が「コロニアル・ファースト・ステート・アセット・マネジメント」から「ファースト・センティア・インベスターズ（オーストラリア）アイエム・エルティーディー」に変更されたため、約款に所要の変更を行いました。

(2019年10月31日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2005年9月29日から無期限です。	
運用方針	安定的な収益の確保と信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。	
主要投資対象	D I A M 世界 インカム・オープン (毎月決算コース)	以下の各マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	D I A M 高格付 インカム・オープン・ マザーファンド	高格付資源国の公社債を主要投資対象とします。
	D I A M 世界好配当株 オープン・ マザーファンド	日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とします。
	D I A M U S ・ リート・オープン・ マザーファンド	米国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産投信等の投資信託証券を主要投資対象とします。
	D I A M インター ナショナル・リート・ インカム・オープン・ マザーファンド	米国および日本を除く世界各国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産投信等の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>各マザーファンド受益証券への投資を通じ、実質的に外国債券、外国不動産投資信託証券および外国株式に投資を行います。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。</p> <p>中長期的なリスク水準等を勘案し、各マザーファンド受益証券への基本配分を決定し、投資を行います。</p> <p>各マザーファンド受益証券の時価の変動等により、時価構成比が変化した場合には、定期的に基本配分に修正します。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。</p>	
分配方針	<p>決算日（原則として毎月26日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等のうち、原則として利子・配当等収益を中心に安定した収益分配を継続的に行うことをめざします。また、毎年6月および12月の決算時には、原則として利子・配当等収益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額から分配を行います。分配金額につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案し委託会社の判断により決定します。但し、分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年12月～2019年11月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2019年12月26日)

◆組入ファンド等

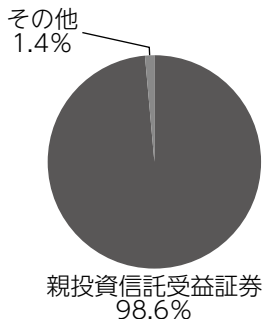
(組入ファンド数：4ファンド)

	第169期末
	2019年12月26日
D I A M高格付インカム・オープン・マザーファンド	49.4%
D I A M世界好配当株オープン・マザーファンド	24.6
D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	14.8
D I A M U S ・リート・オープン・マザーファンド	9.8
その他	1.4

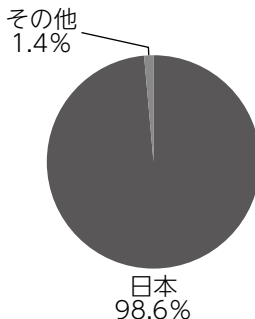
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

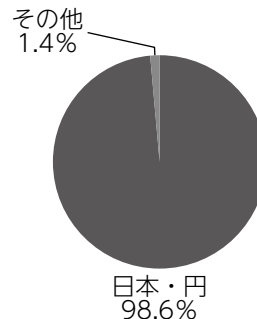
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

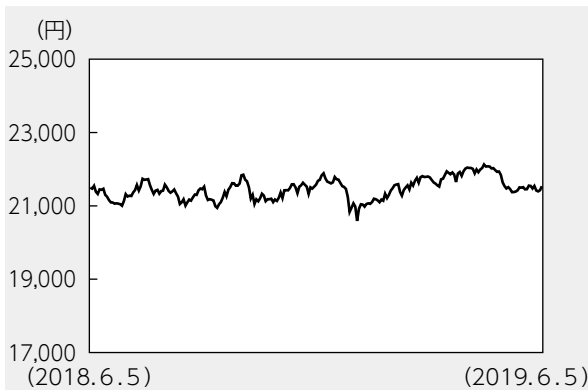
項目	第164期末	第165期末	第166期末	第167期末	第168期末	第169期末
	2019年7月26日	2019年8月26日	2019年9月26日	2019年10月28日	2019年11月26日	2019年12月26日
純資産総額	4,558,277,045円	4,275,251,073円	4,403,199,554円	4,472,608,776円	4,423,151,287円	4,387,423,801円
受益権総口数	5,282,825,368口	5,221,441,212口	5,183,652,703口	5,152,190,159口	5,108,601,674口	4,988,444,359口
1万口当たり基準価額	8,628円	8,188円	8,494円	8,681円	8,658円	8,795円

(注) 当作成期間 (第164期～第169期) 中における追加設定元本額は11,506,854円、同解約元本額は354,757,493円です。

組入ファンドの概要

[D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド]（計算期間 2018年6月6日～2019年6月5日）

◆基準価額の推移



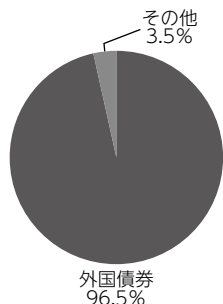
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
AUSTRALIAN 3.25 04/21/29	オーストラリア・ドル	6.9%
CANADA 5.0 06/01/37	カナダ・ドル	5.0
NEW ZEALAND 5.5 04/15/23	ニュージーランド・ドル	4.5
AUSTRALIAN 5.5 04/21/23	オーストラリア・ドル	4.2
AUSTRALIAN 5.75 07/15/22	オーストラリア・ドル	3.5
AUSTRALIAN 4.75 04/21/27	オーストラリア・ドル	3.4
AUSTRALIAN 3.75 04/21/37	オーストラリア・ドル	3.3
AUSTRALIAN 4.25 04/21/26	オーストラリア・ドル	3.2
TREASURY CORP VICTORIA 5.5 12/17/24	オーストラリア・ドル	3.1
CANADA 4.0 06/01/41	カナダ・ドル	2.9
組入銘柄数	65銘柄	

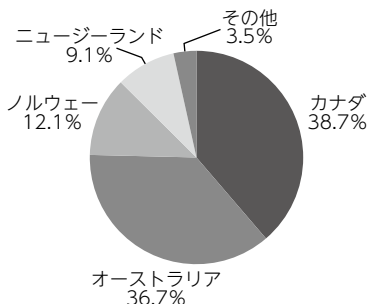
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	2円	0.009%
(その他)	(2)	(0.009)
	(0)	(0.000)
合計	2	0.009

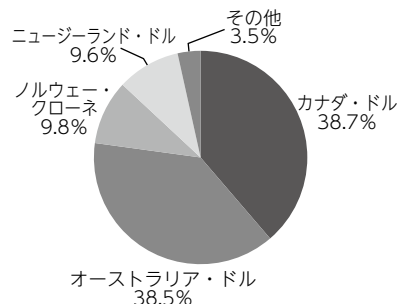
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（21,466円）で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ（1万口当たりの費用明細）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

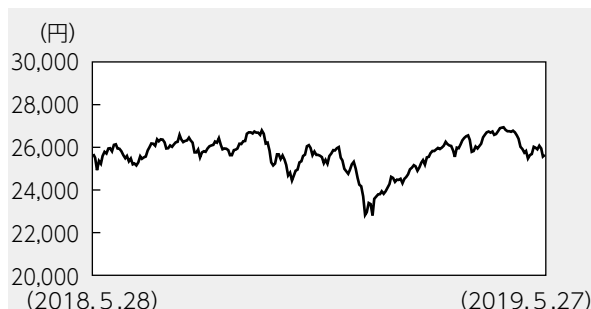
(注6) 国別配分は、発行国（地域）を表示しています。また、国際機関の発行する債券については「国際機関」と表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド]

(計算期間 2018年5月29日～2019年5月27日)

◆基準価額の推移



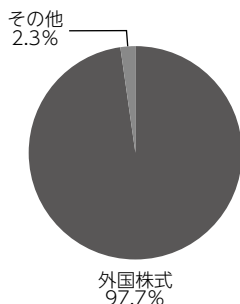
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ・ドル	2.7%
MERCK & CO.INC.	アメリカ・ドル	2.6
MCDONALD'S CORPORATION	アメリカ・ドル	2.4
NOVARTIS AG-REG SHS	スイス・フラン	2.1
PACCAR INC	アメリカ・ドル	2.1
DEUTSCHE POST AG-REG	ユーロ	2.1
TOTAL SA	ユーロ	1.9
BB&T CORP	アメリカ・ドル	1.7
SIX FLAGS ENTERTAINMENT CORP	アメリカ・ドル	1.7
RWVE AG	ユーロ	1.7
組入銘柄数	93銘柄	

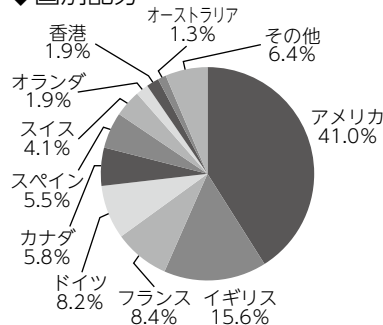
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	13円 (13)	0.050% (0.050)
(b) 有価証券取引税 (株式)	9 (9)	0.037 (0.037)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	5 (4) (0)	0.018 (0.017) (0.001)
合計	27	0.105

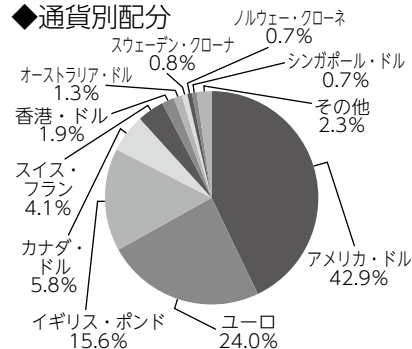
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(25,666円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄・資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。また、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

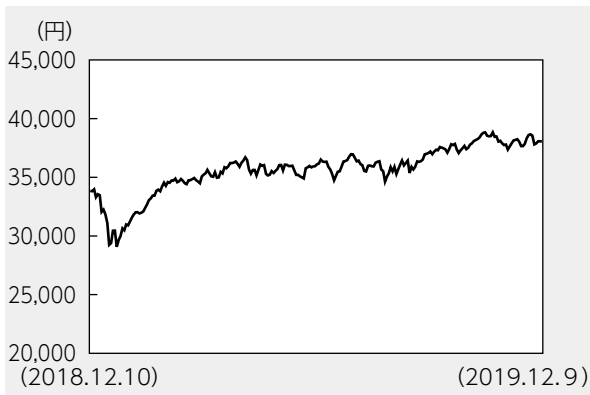
(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【DIAM US・リート・オープン・マザーファンド】

（計算期間 2018年12月11日～2019年12月9日）

◆基準価額の推移



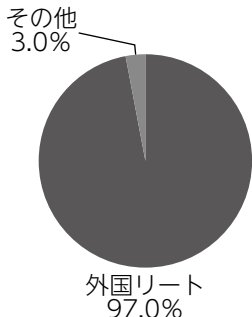
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	5.4%
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	5.3
AVALONBAY COMMUNITIES INC	アメリカ・ドル	5.1
EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ・ドル	3.8
REXFORD INDUSTRIAL REALTY INC	アメリカ・ドル	3.5
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	3.5
TERRENO REALTY CORP	アメリカ・ドル	3.4
AMERICAN CAMPUS COMMUNITIES	アメリカ・ドル	3.4
PUBLIC STORAGE	アメリカ・ドル	3.4
ESSEX PROPERTY TRUST INC	アメリカ・ドル	3.4
組入銘柄数	45銘柄	

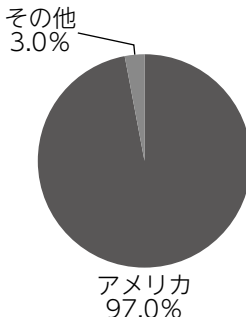
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	8円 (8)	0.024% (0.024)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	4 (4) (0)	0.011 (0.011) (0.000)
合計	12	0.034

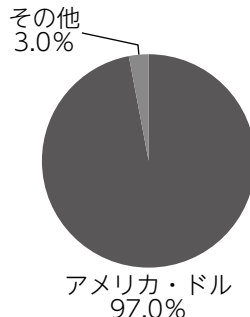
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（35,648円）で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ（1万口当たりの費用明細）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

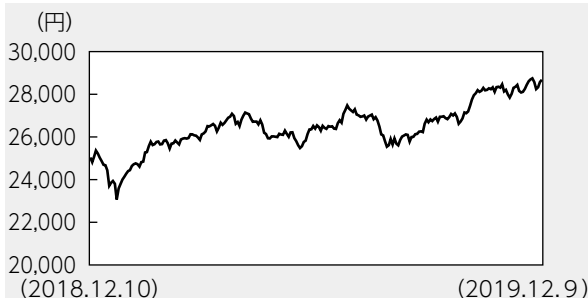
(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 国別配分は、発行国（地域）を表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド] (計算期間 2018年12月11日～2019年12月9日)

◆基準価額の推移



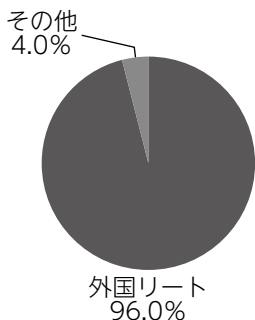
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
RIOCAN REAL ESTATE INVEST TRUST	カナダ・ドル	6.4%
CROMBIE REAL ESTATE INV	カナダ・ドル	5.2
UNITE GROUP PLC	イギリス・ポンド	5.0
SEGRO PLC	イギリス・ポンド	5.0
MIRVAC GROUP	オーストラリア・ドル	4.9
NATIONAL STORAGE REIT	オーストラリア・ドル	4.5
WAREHOUSES DE PAUW	ユーロ	4.2
GOODMAN PROPERTY TRUST	ニュージーランド・ドル	4.1
EUROCOMMERCIAL PROPERTIES NV	ユーロ	4.0
LINK REIT	香港・ドル	3.7
組入銘柄数	33銘柄	

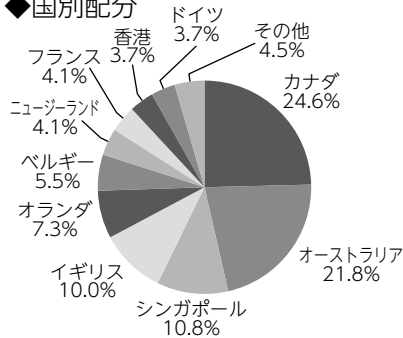
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	7円 (4) (3)	0.027% (0.017) (0.010)
(b) 有価証券取引税 (投資信託受益証券) (投資証券)	5 (1) (3)	0.018 (0.006) (0.013)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	7 (6) (1)	0.025 (0.022) (0.002)
合計	19	0.070

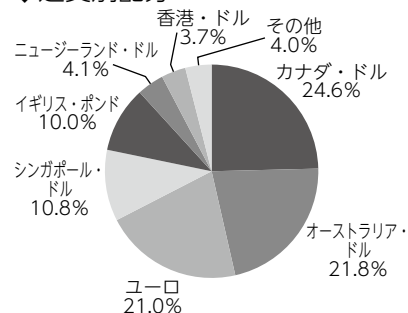
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(26,455円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

